

9 ヒスイを楽しむおすすめコース



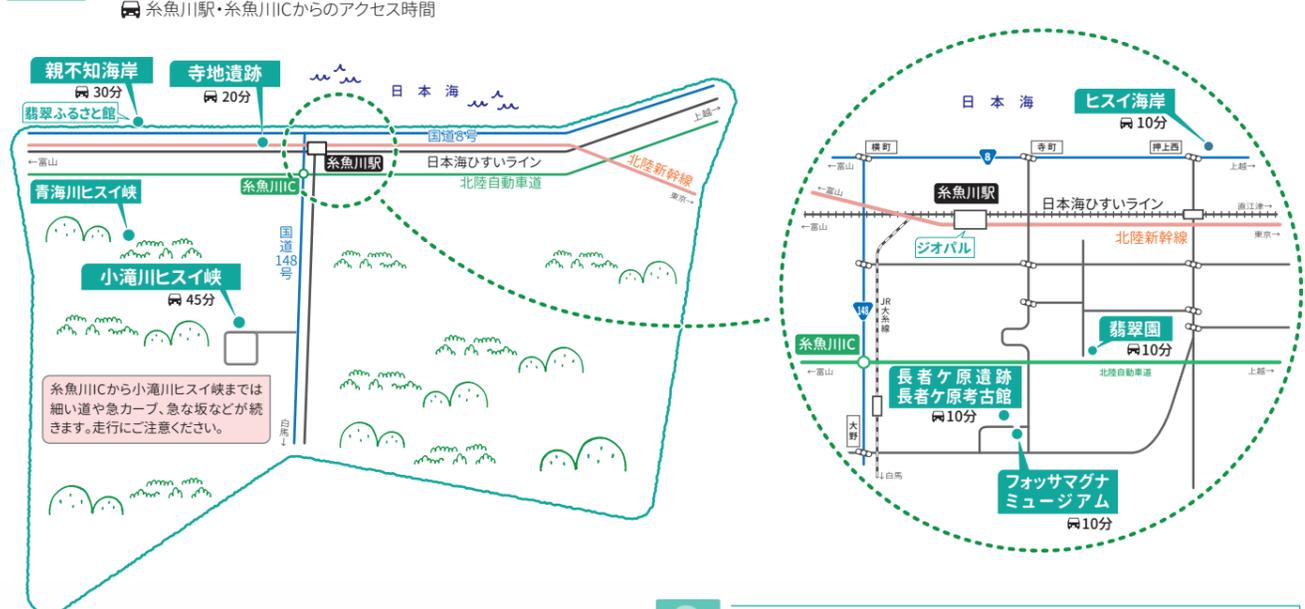
●2時間コース



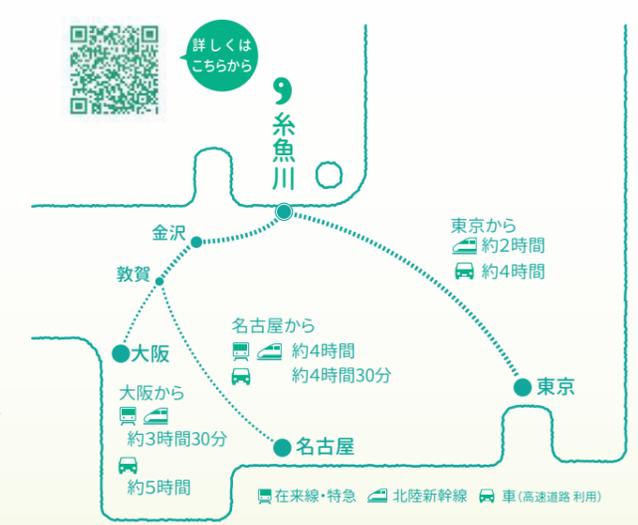
●4時間コース



9 いといがわヒスイマップ



9 アクセスマップ



9 奴奈川姫の伝説

奴奈川姫の像

糸魚川には、ヒスイにまつわる「奴奈川姫」伝説が数多く残ります。姫は、『古事記』や『出雲国風土記』などの古い書物に登場し、高志国(福井県から新潟県の地域)を治めていたとされています。『古事記』には、出雲国(島根県)の大国主命が奴奈川姫に求婚に来た、とも記されています。実在したという証拠はありませんが、ヒスイの勾玉を身に着けたお姫様だったかもしれません。

問い合わせ
 (一社)糸魚川市観光協会
 〒941-0061 新潟県糸魚川市大町1-7-47
 TEL 025-555-7344

ヒスイのふるさと いといがわ



ヒスイのふるさと いといがわ

ヒスイの歴史と
ゆかりの場所



5億年前 地下深くでヒスイが誕生

2.5億年前 地上にヒスイが現れる

小滝川ヒスイ峡

国指定天然記念物



小滝川ヒスイ峡と
青海川ヒスイ峡は、地下
深くで生まれたヒスイが
地上に現れた
場所です。

国指定天然記念物



青海川ヒスイ峡

糸魚川のヒスイは
5億年前に地下深くで生まれ、
2.5億年前、地上に現れました。
いにしへの時代に
糸魚川の住民が作ったヒスイの玉は、
全国に運ばれました。
今、私たちは、山の中の
ヒスイ峡で大きな
原石を見て学び、
川を流れて海岸に
打ち上げられた
ヒスイに出会うこ
ともできます。

約6,500年前 糸魚川でヒスイの利用がはじまる
(縄文時代)

約5,000年前 ヒスイの「玉」の製作がはじまる
(縄文時代)

西暦710年～(奈良時代)
古事記や出雲国風土記などに
ヒスイや奴奈川姫が記される

西暦750年頃 (奈良時代)
この頃、日本の歴史から
ヒスイが消える

この時代以降の遺跡
からは、ヒスイ加工場
の跡や加工品は見つ
かっていません。

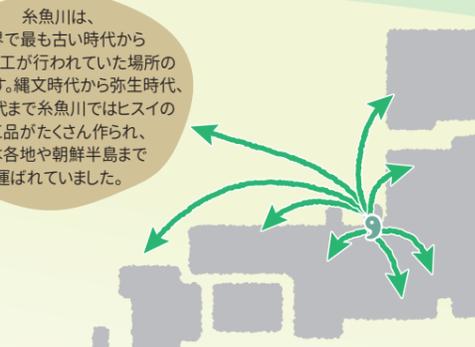
長者ヶ原遺跡

国指定史跡



ヒスイ製の「玉」は
大珠や丸玉、勾玉など
時代によってさまざまな形
のものが作られていました。

長者ヶ原遺跡から
出土したヒスイ製大珠



長者ヶ原考古館



長者ヶ原考古館
住所: 糸魚川市一ノ宮1383
電話: 025-553-1900

世界最古級の
ヒスイ文化の
魅力と不思議に
触れられます。

寺地遺跡

国指定史跡



寺地遺跡から出土したヒスイ製玉類

歴史から忘れ去ら
れていたヒスイが、
糸魚川の山あいで
発見されました。

1938年 小滝川でヒスイが発見される

青海川でヒスイが発見される 1955年

小滝川ヒスイ峡が国の天然記念物に指定される 1956年

青海川ヒスイ峡が国の天然記念物に指定される 1957年

ヒスイは山から川を流れ、やがて海岸
に打ち上げられます。ヒスイ海岸や
親不知海岸には、手のひらサイズのさ
まざまな石が広がっています。運が良
ければ、たくさんの石の中からヒスイを
見つけられるかもしれません。

ヒスイは同じくらい大きさであれ
ば、他の石よりも重く、少し角ばっ
ていることが特徴です。また、色
は緑色のイメージがありますが、
白いものがほとんどです。

ヒスイが国の石に選定される 2016年
(日本鉱物科学会)

ヒスイが新潟県の石に指定される 2022年

フォッサマグナミュージアム

糸魚川の川や海で発見されたヒスイの
原石が展示されています。また、糸魚川
の伝統工芸品であるヒスイ製品の取り
扱ひもあります。

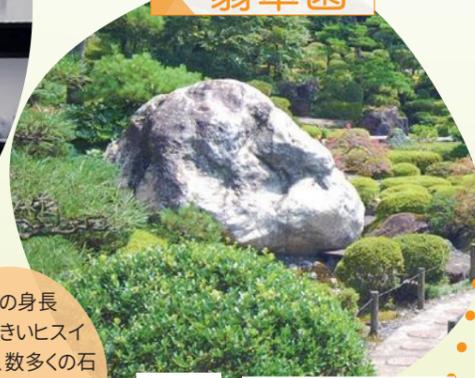


ヒスイをじっくり
見られる場所

フォッサマグナミュージアム
住所: 糸魚川市一ノ宮1313
電話: 025-553-1880



翡翠園



大人の身長
よりも大きいヒスイ
原石など、数多くの石
を使った、回遊式の
庭園です。



翡翠園
住所: 糸魚川市蓮台寺2-11-1
電話: 025-552-9277



糸魚川市は日本初の
ユネスコ世界ジオパークです
世界有数のヒスイの産地であり、日本列島
を東西に分ける糸魚川-静岡構造線が通
り、地球や大地の成り立ちがわかる貴重な
場所です。糸魚川市全体がユネスコ世界ジ
オパークに認定されています。



糸魚川ジオパークは、地域の伝統と法に基づき、資源などの保護を推進しています。

小滝川ヒスイ峡

小滝川ヒスイ峡展望台からの眺め

ヒスイ海岸